

保健医療情報標準化会議

議長 大江 和彦 殿

1/25/2010

日本 HL7 協会

会長 木村 通男

### HL7 規格の適用についてのコストに関わる回答

前略

第 13 回会議（3/9/2009）において、HL7 規格の使用について、そのコストが利用者にはかかるという懸念が示されました。第 14 回会議（10/7/2009）においてこの懸念については、何人も HL7 規格の適用に当たってコストがかからないことを説明し、文書において提出することが要請されました。以下に改めて本課題について HL7 協会の方針をまとめます。

HL7 は、ANSI（American National Standards Institute）が承認している標準化団体であり、現在 ISO（International Organization for Standardization）と医療情報に関してリエゾン関係を有しております。これらの標準化団体が開発した規格の利用について積極的に「コストをかけない」との明記はありませんが、また「コストをかける」という明記もありません。HL7, Inc.（HL7 協会本部）の規約（Bylaw）に、協会として積極的に普及を推進するとあります。日本 HL7 協会はこれらの観点から、HL7 規格の利用についてはコストを課されないと判断し、また日本における規格適用商品の開発、販売について、日本 HL7 協会は会員であることを求めるものではありません。

HL7 規格の適用によって、医療情報システムの相互運用性が高まること、またシステムが扱う文書の共通利用性が高まることを鑑みるに、HL7 規格の積極的な利用を進めるべきと考えますし、その開発に大いに参加いただくことを推奨いたします。従って、会員であることの利点は、規格適用商品の開発のための排他的権益ではなく、むしろ規格制定への積極的参加にこそあると考えています。

草々